

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	本庁舎等維持管理費				
担当課係名	西木総合窓口課	課	総務	班	作成者 浅利喜一郎
総合計画での 位置づけ	施策の大綱	計画達成のため			総合計画の ページ 106
	基本計画	行政運営の効率化			
	主要施策	新庁舎建設・民間委託、民営化の推進			
予算費目	一般	会計	2 款	総務費	1 項 総務管理費 5 目 財産管理費
事業期間	平成	年度	～	平成	年度 新規 / 継続の区分
性質区分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根拠法令等					
事務区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運営方法	☐ 直営 ☒ 直営(一部民間委託) ☐ 民間委託(全部) ☐ 補助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	来庁者及び職員
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	庁舎設備を維持管理し、庁舎の安全性及び来庁者の利便性や職員の労働環境の維持又は改善を行い、公務の円滑な遂行を図る。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	庁舎環境衛生管理、清掃、機械設備、電気設備等維持管理

【事務事業の推移】

(単位：千円)

	項 目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	庁舎面積	m ²	3,002	3,002
	成果指標	光熱水費 + 燃料費 / 職員数	円	71,301	77,475
投下コスト	項 目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費(人件費を除く)(A)		12,254	12,341	
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源		12,254	12,341	
	人件費(B)	—	6,282	6,457	
	職員数	—	0.8	0.8	
	職員平均人件費	—	7,853	8,071	
	(A) + (B) 投下コスト	—	18,536	18,798	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)	—	6,175	6,262	
		—			
	市民1人当たりのコスト(円)	—	581	599	

【事務事業の今までの成果】

庁舎委託管理の長期契約による経費節減、職員によるボイラー運転(時間外で対応)をシルバー人材に委託して経費の節減に努めた。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	特になし

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
C	A	現状のまま継続(実施)	維持管理については、評価しにくいものがある。
	B	見直しの上で継続(実施)	
	C	大幅な見直しの上で継続(実施)	
	D	休止・廃止(統合を含む)を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容(改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。)

庁舎維持管理については、職員の省エネの意識を高め、節約に努力する。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
C	庁舎の老朽化や分庁舎方式のため維持管理については、相当の経費が掛かっていると思われる。今後は、新庁舎建設を含めた本庁舎方式の検討などにより経費の削減を図る必要があると考える。

一次評価診断図

